

**地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)**

- 1 瀬戸市総合戦略策定
- 2 “食”と“器”の販路開拓支援
- 3 新規ビジネスモデル構築支援
- 4 若手デザイナー等の地域資源産地派遣
- 5 中心市街地等空き家対策
- 6 男女共同参画社会推進のための結婚支援
- 7 若者によるまちづくり活動支援

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③ 交付金額 総事業費 (単位:円)	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
				1	瀬戸市総合戦略策定	名古屋市・豊田市とのアクセス性が良く、窯業を中心とした産業集積及び文化資源を活かし、市民の定住意向を強化し、流入人口の増加につなげるための瀬戸市総合戦略を策定するために、必要な調査等を実施する。	9,832,000	指標①	-	-	-
	専門的調査等の実施経費: ・住民を対象とした意向調査実施経費 ・意向調査を前提とした施策ニーズ等の詳細調査実施経費 ・瀬戸市総合戦略の印刷製本費 ・住民等との意見交換会の実施に係る経費	9,937,820									

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③ 交付金額 総事業費 (単位:円)	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
				2	“食”と“器”の 販路開拓支援	<p>瀬戸市には窯業分野及びそこから派生した産業が集積しており、歴史的・文化的な背景も有している。また、近年は農業の6次産業化にも取り組んでおり、今後は、瀬戸市産の“食”と“器”を活かした市場展開に取組み、地域経済の活性化につなげるのが急務である。このことから、陶磁器の首都圏への販路拡大の支援とともに、“食”と文化を発信する拠点となっている道の駅「瀬戸しなの」における販売促進を展開する。</p> <p>地域産の“器”と“食”のブランド展開等に係る事業実施経費: ・首都圏における瀬戸焼ブランド発表会実施経費 ・地場産品売り場スペースの拡充に係る経費 ・市場調査・商品開発・商品PR等に係る経費</p>	33,000,000	指標①	瀬戸焼成約件数	15	件	H28.3
33,962,949	指標②	地場産品売上高客単価H25比	10				%増	H28.3	3.8			

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③ 交付金額 総事業費 (単位:円)	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
				3	新規ビジネスモデル構築支援	<p>瀬戸市には窯業分野及びそこから派生した産業が集積しており、歴史的・文化的な背景も有している。これらの強みを活かして、新規国内市場の開拓や海外富裕層向け商品開発など新しいビジネスモデルの構築を支援する。</p> <p>研修会・商談会等実施経費: ・セミナー・研修会等実施経費 ・商談会実施経費</p>	2,000,000	指標①	成約件数	5	件	H28.3

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③		④				⑤		⑥	
			交付金額	総事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
			(単位:円)	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
4	若手デザイナー等の地域資源産地派遣	瀬戸市には窯業分野及びそこから派生した産業が集積しており、歴史的・文化的な背景も有し、窯業に関する職業訓練校などの教育施設も充実している。これらの強みを活かして、市内の企業と若手技術者との交流の機会を増やし、市内への就業者を増やすとともに、中小企業の企画力・商品開発力の向上を図る。	4,400,000	指標①	研修生受け入れ企業	5	社	H28.3	6	地方創生に相当程度効果があった。	事業内容の見直し(改善)	事業の結果、若手デザイナーと市内企業のコラボレーションが検討されるなど、一定の効果があつたところ。今後は、地元のデザイナーを活用するなど、費用対効果を考えながら事業を見直していきたい。
		“交流事業実施経費: ・デザイン相談窓口設置に係る経費 ・商品デザイン等に関するセミナー実施に係る経費	4,496,698									

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③		④				⑤		⑥	
			交付金額	総事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
			(単位:円)	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
5	中心市街地等空き家対策	古くから市街地が形成された尾張瀬戸駅周辺の中心市街地では、住宅の老朽化が進み、空き店舗や空家が目立ち始めている。また、昭和40年代に造成した水野団地・菱野団地においても人口が減少し、空家が増加傾向にある。これらの実態を調査し、施策の方向性を定め、(仮称)空家バンク開設等による空家の利活用とともに人口維持、人材の呼び戻しを図る。	12,100,000	指標①	空家バンクを通して、空家の再生又は空家への移住が成立した件数	5	件	H28.3	4	地方創生に相当程度効果があった。	追加等更に発展させる	H28年2月に空き家を募集し、3月末に空き家情報バンクを立ち上げた。6月30日時点で4件の成立があり、引き続き物件の募集と利用者への周知を図る。
		専門的調査等の実施経費: ・空家等の実態調査 ・今後の空家等対策計画策定に向けた協議会の運営 ・(仮称)空家バンク開設・運営に係る経費	12,219,660									

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③ 交付金額 総事業費 (単位:円)	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	
6	男女共同参画社会推進のための結婚支援	<p>瀬戸市は、県下でも合計特殊出生率が低く、若い世代が結婚できる環境整備及び施策展開が急務である。このことから、婚活等の総合的な支援を実施する。</p> <p>各種婚活等の総合的な支援: ・セミナー等開催に係る経費 ・イベント開催に係る経費 ・相談窓口設置に係る経費</p>	4,900,000	指標①	婚姻に至る見込みのカップル成立数	20	組	H28.3	35	地方創生に効果があった。	事業内容の見直し(改善)	<p>セミナーと婚活イベントのセット参加を条件としたが、セミナーによる共働きへの理解や、固定的性別役割分担意識の解消の効果は薄く、セミナー内容や実施方法の見直しが必要と考えられるため。また、市外の参加者も比較的多く、将来の本市の定住や少子化対策に繋がるための工夫が必要であるため。</p>

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る事業結果
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 事業の概要:目的 実施経費内容	③		④				⑤		⑥	
			交付金額	総事業費	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		実績値を踏まえた事業の今後について	
			(単位:円)	(単位:円)	指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由
7	若者によるまちづくり活動支援	名古屋市・豊田市とのアクセス性が良い等の本市の特性を活かした施策の調査研究を、市内や近隣の大学と協働によって行う。これによって、地域における若年層の転出や雇用といった課題の解決を図り、地域で活躍できる若い人材の育成や地域への定住にもつなげる。	1,600,000	指標①	連携事業実施件数	3	件	H28.3	4	地方創生に効果があった。	追加等更に発展させる	市の将来を担う若者によるまちづくり活動は、定住促進や地域活性化に不可欠であり、総合戦略が定める目標の達成においても非常に重要であるため、事業を継承し、さらに発展させていくべきと考えられるため。
		専門的調査等の実施経費: ・大学との連携によるまちづくり施策の調査研究に係る経費 ・調査研究結果に基づく施策の推進に係る経費 ・研修プログラム等の実施経費	2,161,198									

瀬戸市地方創生先行型事業結果検証有識者懇談会 委員意見

●瀬戸市が歴史的に保有している可能性を、新しい展開を視野に入れつつ挑戦し続けることは高く評価されよう。ただし全体として瀬戸市を囲む近隣市町村との共生を視野に入れることが必要であると考えます。

●先行型交付金のみならず、地方創生に関する事業は、地方への税収の拡大、雇用の創出を産み出す取り組みである。

瀬戸市の事業について、それぞれの事業を実施した結果、税収増や雇用拡大にどのように作用したかを伺えるものになっていない。例えば、事業を行い、どれだけの業務契約がなされ、企業がどれだけ稼ぎ、その結果税収がどれだけ増えたのかを追って評価すべきである。

●各事業とも、成果を上げていると評価されているが、本来は投資した資金以上の回収が「市民」に対して行われたのか。もしくは今後いつまでに回収可能になるのか（市民生活に効果がある）という予測も含め「正確な評価」が必要だと思われる。さらに先行型に採択した事業全般について、瀬戸市が実施した事業は「やきもの」に関する事業に多くの金額が割かれている。

100%の交付金であるならば、その他にも実施すべき取り組みがあったと考える。こうした交付金の活用事業について、今後は、教育や福祉など市民生活を改善する方向で実施すべき事業を精査して実行されるべき。

瀬戸市地方創生先行型事業結果検証有識者懇談会 委員意見

- 「“食”と“器”の販路開拓支援」事業は、事業費が特に巨額であるため、その効果については可能な限り測定することが望ましい。また、本事業の効果はそれを行った年度にとどまらず、将来にわたると考えられるので、何らかの形で効果を追えるとよい。
- 「“食”と“器”の販路開拓支援」については、今は、“食”と“器”が、個々にあがっているが、“食と器”をテーマに瀬戸市内の飲食店などでも、食と器のもてなしの心を取り入れ、瀬戸市の観光価値へと発展させて欲しい。
- 「新規ビジネスモデル構築支援」については、効果が出るのに時間がかかるものなので、今後も成果を検証して欲しい。
- 「若手デザイナー等の地域資源産地派遣」については、効果が出るのに時間がかかるものなので、今後も成果を検証して欲しいと思うが、現在の報告ではやや成果が読みとりにくかった。
- いずれの事業も概ね期待通りの結果が得られていると評価できる。「中心市街地等空き家対策」に関しては、KPIの評価に直接関係する空き家バンク事業の促進の他、今回の実態調査で把握された情報を、空き家の利活用促進や、中心市街地の再生につなげるための次の一手に有効に活用していただきたい。